室蘭市まち「ピカ」パートナー情報　平成２６年１月６日発行

まち「ピカ」だより

No. 18 （2014年1月号）

H25.12 現在
217 団体（7,336 人）

＝＝活動区域＝＝

国　道	6 ヵ所
道　道	36 ヵ所
市　道	280 ヵ所
公　園	105 ヵ所
その他	49 ヵ所

（河川海浜等）

２０１４年の新しい年を迎えました。パートナーの皆さまいかがお過ごしでしょうか？

2013 年の活動も終わり、皆様からの活動のお知らせや報告の声が聞かれなくなったことに、少し寂しさを感じます。たくさんの活動どうもありがとうございました。本当にお疲れ様でした。

さて、今回のまち「ピカ」だよりは、まち「ピカ」パートナーの「地球岬街道夢の森づくりの会」さんと「室蘭イタンキ浜鳴り砂を守る会」さんの活動にお邪魔してきた時の様子をレポートにして報告させていただきます。

まち「ピカ」体験レポート

其の72　地球岬街道夢の森づくりの会　植樹の観察会・植樹会にお邪魔してきました

室蘭の観光名所地球岬に通じる観光道路沿いのごみ処分場跡地で森林再生を目指す「地球岬街道夢の森づくりの会」。５月 25 日(土)、樹木の観察会と植樹会は参加者総数約５０名のもと開催されました。

主催者森川卓也会長の挨拶を始めに観察会がスタート！！

観察会は同会の相談役鈴木 隆氏(樹木医)を講師に進められ、第 1 期の植樹場所から順次、観察が行われ植樹の難しさや苦労話などを交えながら興味深い話をしていただきました。
鹿に植樹した木を食べられたケースもあると聞き、自然の厳しさも感じました。

観察会の様子(写真中央：鈴木 隆氏)

次に、H24 年 11 月 27 日の暴風雪で倒木した場所に移りました。そこで目にしたのは、ヤナギの木が倒れて根がむき出しになっているのに、枝からは芽が生えている光景でした。木は根がダメになると死んでしまうと思っていましたが、この木を見ると木の生命力は本当に計り知れないものだと大変驚かされました。

H24 年 11 月 27 日の暴風雪で倒木。枝から芽が生えています。

次に植樹会にも参加しました。植樹をするのにまず穴を、スコップの剣先が隠れるほどまで掘ります。スコップが思うように入っていかなく、かなり苦戦を強いられました。穴を掘り肥料を入れ、土を被せて完了です。植樹は、簡単にできる事と思い参加しましたが、本当に大変な作業なのだと痛感しました。

植樹した後に、今回植樹した目印のリボンをつけます。

鹿もこちらの様子を見に来ていました

季節外れの桜が「夢の森」で咲いていました。「夢の森」で満開になるのがホント楽しみです。

ホントにきれいに咲いていました

　今回、初めて参加させていただきましたが、「夢の森」から見渡せる壮大な海と山の景色の中、自然について勉強し植樹体験で汗を流し、本当に貴重な１日を送ることができました。皆さんの精力的な活動を見ると近い将来、立派な「夢の森」が完成すると思います。是非、皆さまも「夢の森」づくりに参加し、自分の手で「夢の森」を創り上げてみませんか。景色もよく本当に気持ちが良いですよ。

　地球岬街道夢の森づくりの会の皆さま、植樹に参加された皆さま、本当にお疲れさまでした。これからもまた、このような機会に参加したいと思います。貴重な体験をありがとうございました。

たくさんの方が参加しました①

植樹作業の様子

１本だけ、桜が咲いていました

たくさんの方が参加しました②

和気あいあい植樹作業①

和気あいあい植樹作業②

其の73　室蘭イタンキ浜鳴り砂を守る会　鳴り砂海岸の清掃活動にお邪魔してきました

平成 16 年に北海道の「環境美化促進地区」に指定されたイタンキ浜鳴砂海岸の観察と清掃など自主的な保全活動を平成９年以来続けてきました「室蘭イタンキ浜鳴り砂を守る会」。６月９日(日)の鳴り砂保全活動は胆振総合振興局、まち「ピカ」に登録している近隣の町内会や室蘭工業大学明徳寮の方々、一般市民の方々が参加し総数約２００名のもと行われました。

主催者菊地富子会長の挨拶を
始めに保全活動スタート！！

参加するのは今回で２回目ですが、気合いが入ります。菊地富子会長の挨拶が終り、参加者は軍手を履き、火バサミ・ごみ袋を手に持ち、一斉に清掃活動がスタート。先頭を切って飛び出したのは、室蘭工業大学明徳寮の方々で、若いパワーで颯爽と海岸端まで行き、浮玉など大きいごみを拾い集めていました。一般の参加者は、鳴り砂を踏みしめ、音を楽しみながら作業していました。

拾い始めると大・小発泡スチロールやプラスチック破片など様々なごみがあります。拾い集めるのに大変時間が掛かり、人手のいる作業だと感じました。

ごみ拾いの様子

こんなにたくさんのごみを拾いました。
参加された皆さま、お疲れさまでした。

いつも参加されている方に聞くと、今日はこれでもごみが少ないとのこと…それでも個人的にはたくさんのごみがあったように思いました。

きれいになった鳴り砂海岸は、波ですぐにごみが打ち寄せられます。鳴り砂の保全活動は、環境保護という大切な役割を担っています。鳴り砂を守る会さんの自主活動だけでなく私たち一人ひとりが協力していかなければ、この自然環境を守っていくことはできないと思いました。是非一度、きれいで雄大な鳴り砂海岸の景色を眺め、一歩一歩鳴り砂の音を踏みしめながら、鳴り砂の保全活動に参加されてみてはいかがでしょうか。

ごみ拾いをして軽く汗を流し、景色も良く本当に気持ちが良いですよ。鳴り砂を守る会の皆さま、清掃に参加された皆さま、本当にお疲れさまでした。これからもまた、このような機会に参加したいと思います。貴重な体験をありがとうございました。

室工大明徳寮祭名物、赤フン行列で行うパフォーマンスを披露していました。

まちピカパートナー事務局からのお知らせ

全国でも草刈り機の事故が多発しています。

草刈機の使い方に注意！！指の切断や目に負う事故も－

PIO-NET（パイオネット：全国消費生活情報ネットワーク・システム）には、2008～2012 年度（2013 年 4 月 15 日までの登録分）の約 5 年間に刈払機を含む芝刈機の安全・衛生や品質・機能、役務品質に関する相談が 160 件、そのうち、危害情報が 11 件、危険情報の報告が 23 件ありました。

また、医療機関ネットワークには、2010 年 12 月～2013 年 3 月までに刈払機を含む芝刈機による事故情報が 34 件報告されています。

まちピカパートナーでは、多くのパートナーさんが草刈りを行っていますので、草刈りを行う際には、下記の内容を参考にしていただき、事故のないよう活動をお願いします。

事故防止のアドバイス－

1．短時間の作業でも、取扱説明書に記載されているような、長袖、長ズボンを着用し、保護眼鏡などの保護具を身につけましょう。
2．刈払機には、刈刃によるキックバックや飛散物など機械特有の危険があります。これらを理解し、正しくしましょう。
3．刈る草が柔らかい場合や作業場所が構造物周辺の場合は、キックバックが生じないナイロンカッターの使用を検討しましょう。
4．作業中に周囲の人が、キックバックや飛散物などで受傷することがあります。作業前に、周囲に人がいないことを確認しましょう。作業中の人には、近づかないようにしましょう。飛散する危険がある小石や空き缶などの障害物は事前に片づけましょう。
5．エンジンを切らずに絡まった草を手で取り除こうとした場合、草が取れた途端に刈刃の回転が再開し、手を受傷する可能性がありました。作業中、刈刃に草などが絡まったときは、必ずエンジンを停止したりして、不意に刈刃が作動しない状態にしましょう。
6．肩掛けバンドを装着していない状態で転倒した場合は、刈刃が容易に体に触れ、受傷する危険があります。作業中は、適正な長さに調整した肩掛けバンドを必ず装着しましょう。足場の悪い場所や急傾斜地での作業はかまなど手工具の使用も検討しましょう。

（独立行政法人国民生活センターより）

●室蘭市役所ホームページで『まち「ピカ」だより』のバックナンバー（創刊号から今回の１８号まで)すべてご覧いただけます。写真もカラーで見られますので、どうぞご覧ください。
http://www.city.muroran.lg.jp/main/org100/machipika.html

《編集後記》

昨年の活動大変お疲れ様でした。ありがとうございました。

今年６月で、まち「ピカ」パートナー事業は 10 年を迎えます。より良い制度にするため、同封のアンケートにご協力お願い致します。

お正月はいかが過ごされましたか？私を含めご馳走をたくさん食べて体重を気にされている方もいるのではないでしょうか！！

皆さま今年もどうぞよろしくお願い致します。（菊）

【編集・発行】
室蘭市 生活環境部 地域生活課 市民活動センター　担当：菊地・伏見
〒051-0022　室蘭市海岸町１丁目 20 番 30 号 室蘭市港湾部庁舎１階
☎：0143-25-7070　FAX：0143-25-7071　E メール：kyodo@city.muroran.lg.jp